



# 市立病院・診療所改革プラン 市民の不安を解消 急がずに 全会一致で

## 市立病院・診療所改革プラン策定に 当たっての決議

市長は、「市立病院・診療所改革プラン」を、平成25年12月に策定する方針を示しているが、先に開催された住民説明会やパブリックコメントの結果を見ると、市長が提案したプランに対し、要望や反対の声が多く出されている。

また、市議会9月定例会において、「プランの策定に当たっては、地域住民の声をよく聞くこと」とする請願を全会一致で採択していることを踏まえ、市議会として、プラン策定に当たっては下記に掲げる事項について、特に慎重な検討を市長に求めるものである。

### 記

- 1 市民の不安を解消するよう急がずに丁寧な説明に努め、市民の声を反映した改革プランとすること。
- 2 県及び市内医療機関等と十分な調整を行い、奥州市の役割分担や生活圏域の医療体制を、総合的に見据えた改革プランとすること。

以上、決議する。

平成25年12月16日

奥州市議会

【まごころ病院事業会計】  
質問 病床稼働率の減少はなぜか。

【答弁】 5パーセントカットは来年度から解消する。以降については、一般職との絡みから再度協議する。

【水沢病院事業会計】  
質問 医療技術者が不足している今日、水沢病院の職員の給与5パーセントカットはいつまで続けるのか。

【水沢病院事業会計】

【12月10日】  
平成25年度補正予算審議

【答弁】 長期入院患者を在宅診療に切り替えた。また脳外科がなくなった胆沢病院等からの紹介の件数が減った。

【質問】 看護師の配置基準についてどのような基準を考えているか。

【答弁】 看護師不足の現状は理解している。入院患者に対する看護師の割合は、10対1とか13対1にかかわらず、今の医療体制を維持できるように看護師の募集をしていく。



## 年頭のごあいさつ

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

健康で新しい希望に満ちた新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、東日本大震災からまもなく3年となります。当市におきましても被害の復興は、着実に進んでいるものの、放射能拡散事故が市の様々な分野に大きな影響をもたらしております。今後とも関係機関と一体となって、地方の再建に努力して行かなければならないと痛感しているところであります。

昨年は、念願であり30年の年月をかけた胆沢ダムの竣工は大きな喜びとするところであり、水陸万頃の胆沢平野に大きな恵みと豊かな暮らしをもたらしてくれることと思います。又、I L C国際リニアコライダーの建設候補地として、北上山地が選ばれたことも市民の夢と希望が膨らむ大きな朗報でありました。今後とも市民一体となり、議会としましても一層誘致活動を盛りあげて参りたいと存じます。

また、昨年は議会改革に取り組んだ年でもあり、特に定数を6名削減し28名と決定しましたことは、市民の皆様から様々な御意見をいただきました。

今年は議員の改選が3月に実施されます。

今後とも、市民の皆様と共に協働のまちづくりを更に精進して参りたいと思います。今年一年が皆様にとりまして幸多き年でありますようお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。

奥州市議会 議長 渡辺 忠